

政策シート 政策名 06 芸術・文化の拠点の創造と発信

予算費目名 01 創造都市・文化振興費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 06 文化・生涯学習

理想の姿 (30年後) ◆創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。

政策の柱 (10年後) ◆音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。
◆多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

基本政策 01 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

国内外の都市との連携・交流を通じて浜松市を広く発信するとともに、市民の創造的活動に対する支援、人材の育成などを通じ、文化と産業活動の連携で発展する創造都市・浜松の実現を目指す。都市ブランドとしての音楽文化の国内外への発信と交流を促進し、魅力ある音楽文化を求めて人々が集まる「音楽の都」づくりを進める。他都市との青少年音楽団体や音楽文化団体相互の交流を進め、次代を担う音楽人材を育成する。市民が様々な音楽の素晴らしさや楽しさに触れる機会を提供し、「音楽の都・浜松」ならではの市民文化を創造する。

(3) 関連するSDGsのゴール

④教育

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	1,996,850	5,944,228	3,918,188	1,467,403		
決算	1,905,699	5,944,228	3,761,255			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	48,300	48,300	58,800	58,800		
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,953,999	5,992,528	3,820,055	1,526,203		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
音楽をはじめとする市の文化事業に対する満足度	%	目標	38	39	40	41	42	43
		実績	41.5	42	44.9			
文化芸術活動拠点施設の利用者数	人	目標	-	30,000	30,750	31,500	32,250	33,000
		実績	29,302	17,337	21,743			
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

国内外の都市との連携・交流を通じて浜松市を広く発信するとともに、市民の創造的活動に対する支援、人材の育成などの取組を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった第11回浜松国際ピアノコンクールの代替イベントとして浜松国際ピアノ・フェスティバル2021を実施したことより、都市ブランドとしての音楽文化の国内外への発信と交流を促進し、魅力ある音楽文化を求めて人々が集まる「音楽の都」づくりを推進した。札幌市との青少年音楽団体相互の交流については、コロナ禍の対応として、現地訪問ではなく、両市の中学生による交流動画を共同制作し、オンライン上で披露した。ハママツ・ジャズ・ウィークを開催し、企業と連携して市民に音楽鑑賞の機会を提供した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、創造的な事業を数多く実施し、世界に「音楽の都・浜松」を発信した。

- 浜松国際ピアノコンクール事業の実施(第11回ピアノコンクールの代替イベントとして浜松国際ピアノ・フェスティバル2021開催など)
- 札幌市と次代を担う音楽人材育成・交流を実施(両市の中学生による交流動画を共同制作し、オンライン上で披露)
- ハママツ・ジャズ・ウィーク開催事業を実施(コロナ禍を踏まえ、ライブとオンライン配信のデュアルモードを取り入れたイベントとして開催)

◇政策実現のために実施する事業一覧

基金 の 順	事業名	総合 戦略	重点 戦略	主要 事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	音楽文化発信・交流事業	○	○	○		39,930	30,130	1.4				
2	市民音楽文化振興事業	—	○	○		34,427	27,847	0.9			0.1	
3	芸術文化人材育成事業	○	○	○		105,991	97,591	1.2				
4	多彩な文化芸術振興事業	—	—	—		7,234	3,174	0.5			0.2	
5	文化施設管理事業	—	○	○		1,305,010	1,292,830	1.7			0.1	
6	地域創造事業負担金	—	—	—		5,463	4,763	0.1				
7	文化振興基金積立金(一般諸経費のみ)	—	—	—		9,161	8,461	0.1				
8	文化推進デジタル運営経費	—	—	—		887	187	0.1				
9	文化推進運営経費(一般諸経費のみ)	—	○	○		18,100	2,420	2.0			0.6	
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,526,203	1,467,403	8.0			1.0	

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 音楽文化発信・交流事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

音楽文化の国内外への発信と交流を促進することにより、魅力ある音楽文化を求めて人々が集まる“音楽の都・浜松”を推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1990	-	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-2(1)ア						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	178						

(4) 関連するSDGsのゴール

			④教育						
事業とゴールの 関連性	本市の特長である音楽文化の一層の発展を目指すとともに、国内外の都市との交流を通じてその価値を高めていく事業であり、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解を促進させるものであるため。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	37,584	54,981	78,497	30,130		
	決算	22,720	54,981	54,694			
	国・県支出						
	市債						
	その他				2,000		
	一般財源 一般会計繰入金	22,720	54,981	54,694	28,130		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		8,400	8,400	9,800	9,800		
人工	正規	1.2	1.2	1.4	1.4		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		31,120	63,381	64,494	39,930		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
音楽をはじめとする市の文化事業 に対する満足度(%)	Ⅲ-2(1) ア		目標	38	39	40	41	42	43
			実績	41.5	42	44.9			
芸術文化情報ポータルサイト「文化 振興財団」ページビュー数			目標	500,300	500,300	500,400	500,400	500,400	500,500
			実績	504,783	324,463	479,230			
国際的音楽イベント等の開催日数 (日)		178	目標	71	72	73	74	75	76
			実績	88	21	19			
音楽イベントに参加する団体等の 数(団体)		178	目標	1,510	1,520	1,530	1,540	1,550	1,560
			実績	1,260	(中止)	(中止)			
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

基金の積立状況

・2021年度末基金残高:3,034,368,988円

基金の運用

・基金を運用し、その運用収入を基金に積み立てる。

※2014年度より、音楽振興基金積立金、イベント・コンベンション振興基金積立金を文化振興基金に統合



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

・浜松国際ピアノコンクール事業では、第11回浜松国際ピアノコンクールが中止となったが、多くの若手ピアニストや市民の期待する声に応えるため、代替イベントとして浜松国際ピアノ・フェスティバル2021を実施することで、第12回浜松国際ピアノコンクールの開催に向けた機運を高めるとともに、浜松の音楽文化を全国に発信できた。
 ・浜松吹奏楽大会については、新型コロナウイルス感染症の影響により会場での開催は中止となったが、各出演校により製作された映像をオンラインで無料配信することで、吹奏楽の素晴らしさや楽しさを全国に発信することができた。
 ・音楽文化都市交流事業では、札幌市、宝塚市との直接交流はできなかったが、札幌市との交流事業は両市の中学生による交流動画を共同制作し、オンライン上で披露した。
 ※さくま国際交流コンサート等開催事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染症対策を踏まえた事業内容の見直しが必要となった。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

新型コロナウイルスの影響により様々な制約がある中で、ライブとオンライン配信のデュアルモードの取り組みや製作映像をオンライン配信するなど、実施方法の工夫により、演奏機会や音楽に親しむ機会を創出するとともに、「音楽の都・浜松」として音楽文化を発信し、都市ブランドを高めることができた。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

より魅力的な音楽事業の開催を通し、多くの人々が集い交流することで、音楽文化を国内外に発信することにより、「音楽の都・浜松」を推進する。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

【2019-2022重点戦略項目No.178】

浜松ならではの音楽文化を求めて多くの人々が集い、音楽文化が都市の発信と交流を推進するため、浜松吹奏楽大会をはじめとする音楽事業を実施する。

- ・浜松国際ピアノコンクール開催事業(第12回浜松国際ピアノコンクール開催準備)
- ・浜松吹奏楽大会2023開催事業
- ・音楽文化都市交流事業(札幌市・宝塚市との交流事業)
- ・さくま国際交流コンサート等開催事業

事業シート (事業名) 02 市民音楽文化振興事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民を主体とした音楽事業を推進し、まちなかのにぎわいづくりに貢献する。また、企業との共催により音楽文化を振興する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1984	-	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	○	(戦略項目)	178						

(4) 関連するSDGsのゴール

			④教育						
事業とゴールの関連性	誰もが音楽に触れ、楽しむ機会を提供するとともに、まちなかのにぎわい創出など文化を通じた地域の発展に寄与する事業であるため。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	26,906	26,560	27,860	27,847		
	決算	26,906	26,560	24,167			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	26,906	26,560	24,167	27,847		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		6,300	6,300	6,580	6,580		
人工	正規	0.9	0.9	0.9	0.9		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.1	0.1		
年間経費(予算又は決算+A+B)		33,206	32,860	30,747	34,427		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
音楽をはじめとする市の文化事業 に対する満足度(%)	Ⅲ-2(1) ア		目標	38	39	40	41	42	43
			実績	41.5	42	44.9			
国際的音楽イベント等の開催日数 (日)		178	目標	71	72	73	74	75	76
			実績	88	21	19			
音楽イベントに参加する団体等の 数(団体)		178	目標	1,510	1,520	1,530	1,540	1,550	1,560
			実績	1,260	(中止)	(中止)			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

基金の積立状況

- ・2021年度末基金残高:3,034,368,988円

基金の運用

- ・基金を運用し、その運用収入を基金に積み立てる。

※2014年度より、音楽振興基金積立金、イベント・コンベンション振興基金積立金を文化振興基金に統合



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、まちなかコンサートの一部など中止となったイベントもあったが、事業内容の変更や感染症対策を徹底することで開催可能な事業を実施し、市民が気軽に音楽に触れ、楽しむ機会を提供することができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染症対策を踏まえた事業内容の見直しが必要となった。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

企業と共催する音楽事業では、オンラインへの変更や、ライブとオンライン配信のプラタナスコンサートを実施した。また、感染症対策を徹底することでアクトシティオルガンミニコンサート開催事業を実施し、市民が気軽に音楽に触れ、楽しむ機会を提供することができた。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

より多くの市民が演奏し、楽しむことができる場を提供できるよう事業内容を充実していく。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

【2019-2022重点戦略項目No.178】

プロムナードコンサートをはじめとするまちなかで音楽を体験する事業、ジャズ・ウィークやプラタナスコンサートなどの企業と共催する音楽事業など、市民が身近に音楽文化を楽しむ諸事業を実施する。

・まちなかコンサート開催事業

プロムナードコンサート、街かどコンサート、まちなかにぎわいコンサートを開催

・市民オペラ開催事業

市民が中心となって企画・制作する創作オペラを2024年度に上演するため、人材発掘セミナーやワークショップを開催

・企業と共催する音楽事業

第30回ハママツ・ジャズ・ウィーク、プラタナスコンサートを開催

・アクトシティ オルガンミニコンサート開催事業

オルガンの弾き込みを利用し、無料のミニコンサートを開催

オルガン講座「オルガンのパイプを作ってみよう！」を開催

事業シート (事業名) 03 芸術文化人材育成事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

音楽文化の次の時代を担う人材を育成する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1994	-	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅱ-2(1)イ						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	178						

(4) 関連するSDGsのゴール

			④教育						
事業とゴールの関連性	次代の音楽文化を担う人材の育成を通じて、音楽都市としての発展を目指す事業であるため。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	100,966	93,362	61,297	97,591		
	決算	92,274	93,362	59,074			
	国・県支出						
	市債						
	その他	200	200	200	1,960		
	一般財源	92,074	93,162	58,874	95,631		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	8,400	8,400	8,400	8,400		
人工	正規	1.2	1.2	1.2	1.2		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		100,674	101,762	67,474	105,991		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
国際的音楽イベント等の開催日数(日)		178	目標	71	72	73	74	75	76
			実績	88	21	19			
音楽イベントに参加する団体等の数(団体)		178	目標	1,510	1,520	1,530	1,540	1,550	1,560
			実績	1,260	(中止)	(中止)			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
2022年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	06	01	000620000	03	創造都市・文化振興課	新谷 直幸	2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

基金の積立状況

- ・2021年度末基金残高:3,034,368,988円

基金の運用

- ・基金を運用し、その運用収入を基金に積み立てる。

※2014年度より、音楽振興基金積立金、イベント・コンベンション振興基金積立金を文化振興基金に統合



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・アクトシティ音楽院事業では音楽文化の次代を担う人材の育成を図り、修了生である音楽家が全国で活躍している。また音楽院事業の「主催者育成セミナー」では、修了生が企画する音楽事業の開催により、音楽を主体とした市民団体が生まれている。
- ・国内在住のパークリー音楽大学出身者を講師として、高校生モデルバンドに対してクリニック講座を行うことにより、国際感覚の熟成、音楽に対するより深い理解及び演奏技術の向上を図った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染症対策を踏まえた事業内容の見直しが必要となった。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・アクトシティ音楽院事業をはじめとした浜松が育んだ人材を市主催事業等で利活用した。
- ・国や県が示す新型コロナウイルス感染の対応方針を踏まえて、適宜イベントの開催方法の変更や実施可否の判断をした。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

アクトシティ音楽院事業をはじめとした浜松が育んだ人材を把握するとともに、市主催事業等で積極的に利活用していく。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

【2019-2022重点戦略項目No.178】

○アクトシティ音楽院事業

音楽文化振興を担う団体や個人が音楽に親しみ体験する機会を提供し、市民が気軽に参加できる音楽関連講座を開催。世界で活躍できる音楽家や音楽文化の次代を担う人材育成を実施する。

- ・第28回浜松国際管楽器アカデミー & フェスティバルの開催
- ・パークリー音楽大学事業の開催
- ・浜松国際ピアノアカデミー2023の開催

○青少年音楽団体育成事業

ジュニアオーケストラ浜松、ジュニアクワイア浜松を育成するとともに、さくまジュニア吹奏楽講座を実施

○こども音楽鑑賞教室開催事業

市内の小学5年生全員を対象に、アクトシティ大ホールで音楽鑑賞教室開催

事業シート (事業名) 04 多彩な文化芸術振興事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民の文化活動を柔軟に支援し、文化交流や多彩な文化芸術活動の振興を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1955	-	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

			④教育						
事業とゴールの 関連性	市民の多様な文化活動に対する支援を通じて文化の振興を図る事業であるため。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	3,726	3,175	1,754	3,174		
	決算	3,128	3,175	1,416			
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,657	1,875	317	1,874		
	一般財源	1,471	1,300	1,099	1,300		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	4,900	4,900	4,060	4,060		
人工	正規	0.7	0.7	0.5	0.5		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.2	0.2		
年間経費(予算又は決算+A+B)		8,028	8,075	5,476	7,234		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
音楽をはじめとする市の文化事業 に対する満足度(%)	Ⅲ-2(1) ア		目標	38	39	40	41	42	43
			実績	41.5	42	44.9			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
2022年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	06	01	000620000	04	創造都市・文化振興課	新谷 直幸	2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

基金の積立状況

- ・2021年度末基金残高:3,034,368,988円

基金の運用

- ・基金を運用し、その運用収入を基金に積み立てる。

※2014年度より、音楽振興基金積立金、イベント・コンベンション振興基金積立金を文化振興基金に統合



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

市民の文化活動を柔軟に支援し、奨励するとともに、市民との協働により文化の交流を図ることにより、市民の多彩な芸術文化活動を振興し、創造都市・浜松の推進を図った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

ゆかりの芸術家の顕彰事業については、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた事業内容の検討が必要となった。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・市民団体等の主体的な活動を支援し、地域の文化活動の振興を図った。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

市民団体等の主体的な活動を支援し、地域の文化活動の振興を図る。

教育文化奨励事業のうち、ゆかりの芸術家の表彰及び顕彰事業については、際立って活躍した方がいた時に大きく取り上げることで、事業を効果的に実施する。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

奨励事業や顕彰事業など浜松市の多様な文化芸術振興事業を実施する。

・教育文化奨励事業

教育文化奨励賞の授与と2021年度浜松ゆかりの芸術家受賞者の顕彰事業の開催

・文化芸術部門発表会等出場者激励事業

文化芸術部門で地区予選等を経て全国大会に出場する団体・個人に対し、奨励金を交付し、激励する。

事業シート (事業名) 05 文化施設管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民の文化芸術活動の拠点である文化施設の整備を進めるほか、指定管理者による独自の工夫で、イベントや企画展の充実、住民サービスの向上を図り、多様な文化ニーズに応える。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1984	-	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	○	(戦略項目)	174	177					

(4) 関連するSDGsのゴール

		④教育							
事業とゴールの 関連性	市民の文化芸術活動の拠点である文化施設管理を行うとともに、イベントや企画展の充実、住民サービスの向上を図り、多様な文化ニーズに応える事業である。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,810,679	5,750,444	1,730,867	1,292,830		
	決算	1,744,470	5,750,444	1,604,977			
	国・県支出						
	市債		3,112,600				
	その他	8,816	459,574	163,462	153,080		
	一般財源	1,735,654	2,178,270	1,441,515	1,139,750		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	7,000	7,000	12,180	12,180		
人工	正規	1.0	1.0	1.7	1.7		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.1	0.1		
年間経費(予算又は決算+A+B)		1,751,470	5,757,444	1,617,157	1,305,010		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
アクトシティ浜松施設稼働率(%)			目標	78	78	79	79	79	80
			実績	67.8	45.3	51.0			
楽器博物館施設入館者数(人)			目標	85,600	85,600	85,700	85,700	85,700	85,800
			実績	82,617	32,523	40,571			
文化芸術活動拠点施設の利用者数(人)			目標	-	30,000	30,750	31,500	32,250	33,000
			実績	29,302	17,337	21,743			
アクトシティ浜松改修計画策定及び改修整備		177	目標	計画策定	計画策定	改修整備	改修整備	改修整備	改修整備
			実績	計画策定	計画策定	改修整備			
(仮称)市民音楽ホールの整備 整備率(%)		174	目標	5	95	100	100	100	100
			実績	5	100	100			

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

基金の積立状況

・2021年度末基金残高:3,034,368,988円

基金の運用

・基金を運用し、その運用収入を基金に積み立てる。

※2014年度より、音楽振興基金積立金、イベント・コンベンション振興基金積立金を文化振興基金に統合



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

新型コロナウイルス感染症拡大による、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言の対象となった時期もあったが、市民文化の創造拠点である各文化施設において、指定管理者の工夫により、イベントや企画展の充実、住民サービスの向上を図り、コロナ禍における市民ニーズに対応した事業を開催し高い評価を得た。

・楽器博物館では、コロナで来館が難しい方にも自宅で楽しんでいただくため、オンライン上で館内を見学できるバーチャル楽器博物館の取り組みを実施した。

・鴨江アートセンターでは、「アーティスト イン レジデンス事業」を実施し、7組のアーティストが作品制作を行ったほか、40以上の講座を実施し、芸術文化の発信施設として機能し、多くの来館者が訪れた。

・茶室の松韻亭においては、茶道のみならず、写経、能楽、座禅、着付けといった伝統文化教室などを市民の意見を取り上げながら開催し、好評を得た。

・市民音楽ホールは整備事業が完了し、6月に開館をした。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染症対策を踏まえた事業内容の見直しが必要となった。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・アクトシティ浜松においては、コロナ禍における工夫を凝らした文化事業を企画・実施するとともに、官民複合施設の特徴を活かし民間事業者との連携・協働により、大型コンベンションの誘致を積極的に行った。

・楽器博物館では、デジタル技術を活用した取り組みによりコロナ禍においても、音楽文化の向上に貢献した。

・男女共同参画・文化芸術活動推進センターの管理運営について、2022年度からUD・男女共同参画課に移管することを決定した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・今後も指定管理者による管理運営を行っていきながら、指定管理者による独自の工夫により、イベントや企画展の充実に努め、一層の住民サービスを図っていく。

・アクトシティ浜松の設備改修にあたっては計画的に実施していく。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

【2019-2022重点戦略項目No.174、No.177】

- ①アクトシティ浜松管理運営事業
- ②浜松市楽器博物館管理運営事業
- ③浜松文芸館管理運営事業
- ④浜松市旧浜松銀行協会(木下恵介記念館)管理運営事業
- ⑤浜松市茶室管理運営事業
- ⑥浜松復興記念館管理運営事業
- ⑦天竜ものづくり継承施設管理運営事業
- ⑧鴨江アートセンター管理運営事業
- ⑨市民音楽ホール管理運営事業
- ⑩文化施設整備事業

事業シート (事業名) 06 地域創造事業負担金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

地域の芸術文化の振興を目的として設立された(一財)地域創造の活動を支援する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	-	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	4,536	4,498	4,549	4,763		
	決算	4,536	4,498	4,549			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	4,536	4,498	4,549	4,763		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	700	700	700	700		
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		5,236	5,198	5,249	5,463		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

基金の積立状況
 ・2021年度末基金残高:3,034,368,988円
 基金の運用
 ・基金を運用し、その運用収入を基金に積み立てる。
 ※2014年度より、音楽振興基金積立金、イベント・コンベンション振興基金積立金を文化振興基金に統合



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
 指標の達成度
 地域の芸術文化の振興を目的として設立された(一財)地域創造の活動に対する政令指定都市の分担金として、芸術文化くじ(グリーンジャンボ)の持寄額に応じた負担割合により負担した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
 大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状
 現行のとおり実施していく。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)
 大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状
 現行のとおり実施していく。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

地域の芸術文化の振興を目的として設立された(一財)地域創造の活動に対する政令指定都市の分担金として、芸術文化くじ(グリーンジャンボ)の持寄額に応じた負担割合により負担する。

事業シート (事業名) 07 文化振興基金積立金(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

文化の振興を図るための事業に要する経費に充当する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1976	-	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	8,556	8,556	2,008,831	8,461		
	決算	8,456	8,556	2,008,731			
	国・県支出						
	市債						
	その他	8,456	8,556	8,731	8,461		
	一般財源 一般会計繰入金			2,000,000			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700	700		
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		9,156	9,256	2,009,431	9,161		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

基金の積立状況

・2021年度末基金残高:3,034,368,988円

基金の運用

・基金を運用し、その運用収入を基金に積み立てる。

※2014年度より、音楽振興基金積立金、イベント・コンベンション振興基金積立金を文化振興基金に統合



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

文化施設整備、その他文化振興に係る事業のための財源確保に努めた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状
 現行どおりに、民間企業、市民等からの寄附金等を積み立て、文化の振興を図るために要する経費に充当した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状
 現行どおりに、民間企業、市民等からの寄附金等を積み立て、文化の振興を図るために要する経費に充当する。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

民間企業、市民等からの寄附金等を積み立て、文化の振興を図るために要する経費に充当する。

事業シート (事業名) 08 文化推進デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

文化振興費におけるデジタル関連事業に要する経費

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021				

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			2,009	187		
	決算			2,009			
	国・県支出			2,009	187		
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				700	700		
人工	正規			0.1	0.1		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				2,709	887		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
市民音楽ホール インターネット回 線整備・運用			目標			整備・運用	運用	運用	運用
			実績			整備・運用			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

2022年度

分野
06

基本政策
01

政策
06

予算費目
01

所属コード
000620000

事業
08

(担当課)
創造都市・文化振興課

(責任者)
新谷 直幸

(基準日)
2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

基金の積立状況

・2021年度末基金残高:3,034,368,988円

基金の運用

・基金を運用し、その運用収入を基金に積み立てる。

※2014年度より、音楽振興基金積立金、イベント・コンベンション振興基金積立金を文化振興基金に統合



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

・市民音楽ホールの施設利用者向けのインターネット回線整備が完了し、インターネットを活用した施設利用が可能となった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・市民音楽ホールの施設利用者向けのインターネット回線整備が完了し、インターネットを活用した施設利用が可能となった。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・市民音楽ホールの施設利用者向け、インターネットを活用した施設利用について案内をしていく。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

・市民音楽ホールの施設利用者向け、インターネットを活用した施設利用について案内をしていく。

事業シート (事業名) 09 文化推進運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

文化推進事業にかかる管理運営経費及び一般諸経費

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1955	-	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	○	(戦略項目)	179						

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	3,897	2,652	2,524	2,420		
	決算	3,209	2,652	1,638			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	3,209	2,652	1,638	2,420		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	11,900	11,900	15,680	15,680		
人工	正規	1.7	1.7	2.0	2.0		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.6	0.6		
年間経費(予算又は決算+A+B)		15,109	14,552	17,318	18,100		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
新たな文化振興ビジョンの策定		179	目標	ビジョン策定	-	-	-	-	-
			実績	ビジョン策定	-	-			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

2022年度

分野
06

基本政策
01

政策
06

予算費目
01

所属コード
000620000

事業
09

(担当課)
創造都市・文化振興課

(責任者)
新谷 直幸

(基準日)
2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

基金の積立状況

・2021年度末基金残高:3,034,368,988円

基金の運用

・基金を運用し、その運用収入を基金に積み立てる。

※2014年度より、音楽振興基金積立金、イベント・コンベンション振興基金積立金を文化振興基金に統合



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

文化推進事業にかかる管理運営経費及び一般諸経費を執行した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

現行どおり、文化推進の推進にかかる管理運営経費及び一般諸経費を執行した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

現行どおり、文化推進の推進にかかる管理運営経費及び一般諸経費を執行する。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

文化推進事業にかかる管理運営経費及び一般諸経費を執行する。

